【科目の概要】令和7年度開設科目

鳴門教育大学幼稚園教諭免許法認定講習では、現職の先生方向けに実践的で専門性の高い幼児教育についての講習を6科目実施します。

	開設科目名	科目の概要
1	幼児と人間関係	幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、保育内容（人間関係）のねらい及び内容について背景となる専門領域（対人関係の心理学理論）と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付けます。
2	保育内容（環境）	幼児教育の基本及び領域「環境」のねらい・内容をふまえて、乳幼児が育つ過程における「環境」に関わる側面について学ぶことを目的とします。乳幼児は周囲の様々な環境にかかわることを通して、自らの生活や遊びを広げ深めながら育ちます。そのため、保育者は幼児がより豊かな経験ができるように、また、主体的で対話的な学びや思考ができるように、園内外の自然や身近なもの、社会的な出来事や行事・情報機器などを含めた「環境」を工夫する必要があります。
3	保育内容（言葉）	乳幼児期の言葉の一般的な発達過程を養育・保育と関係づけて理解した上で、幼稚園の指導の支えである幼稚園教育要領における「領域 言葉」の内容についての理解を深め、それらを基盤として、様々な保育事例に触れる中で、実際の保育実践場面における望ましい言葉の指導のあり方（環境設定、児童文化、地域文化、子どもへの働きかけ）について具体的に考えられる力を身につけます。
4	幼児教育課程論	幼稚園教育要領を基準として、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、教育課程の意義及び編成の方法、保育の質の向上を図っていくためのカリキュラム・マネジメントの意義について理解することを目的としています。また、幼児期にふさわしい生活の展開を目指す保育のあり方を理解し、幼児の実態に即した教育課程の意義及び作成、評価の方法等について学びます。
5	教育相談論	幼稚園教諭の行う教育相談の役割と特徴を理解し、教育相談の方法の基礎にある理論を学ぶことを目的とします。そのため、幼児期の子どもとその家庭に関する臨床的問題の実際、及び現代の教育現場における諸問題を理解します。さらに、多様な保護者や、様々な困難を抱える子どもとのつながり方・理解の仕方の原則を理解し、園内外の資源と連携しながら支援するための知識と技能を習得するために、学んだカウンセリングの諸技法等を活用した演習を行います。
6	子どもの理解と援助	乳幼児期の子どもの発達過程と保育・教育に関連する心理学的観点から、保育・教育実践について理解を深めます。発達を理解することの意義と手法、乳幼児期の発達過程と環境・コミュニケーション・遊び、発達に偏りのある子どもの理解と支援について講義と演習を通して学びます。